

令和 6 年 第 1 1 回

武蔵村山市教育委員会定例会

令和 6 年 1 1 月 1 5 日

武蔵村山市教育委員会

令和6年第11回武蔵村山市教育委員会定例会

1 日 時 令和6年11月15日（金）

開会 午前 9時30分

閉会 午前10時04分

2 場 所 武蔵村山市役所401大集会室

3 出席委員 池谷光二（教育長） 大野順布
杉原栄子 比留間雅和
潮美和

4 説明のため出席した者の職氏名

教育部長	鈴木 義雄	学校教育担当部長	東口 孝正
教育総務課長	佐藤 哲郎	教育施設担当課長	櫻井 謙次
指導・教育センター担当課長	加藤 由裕	学校給食課長	阿部 淳一
防災食育センター整備担当課長	矢野 喜之	文化振興課長	廣末 聡
スポーツ振興課長	鳥海 純子	図書館長	児玉 眞一
指導主事	石井 和成	指導主事	丹羽 千晶

5 会議に出席した事務局の職員

教育総務課教育政策係 濱谷 綾祐
牧瀬友紀子

議事日程

- 1 会期の決定
- 2 前回会議録の承認
- 3 教育長報告
- 4 議案第49号 令和6年度教育予算の補正（第5号）の申出について
- 5 議案第50号 武蔵村山市立学校の令和7年度入学式及び卒業証書授与式の日程について
- 6 その他

◎開会の辞

○池谷教育長 本日の会議に際しまして、2名の方から傍聴の申出があり、武蔵村山市教育委員会会議規則第29条の規定に基づき、会議の傍聴を許可しましたので報告いたします。

本日の出席委員は全員でございます。

これより、令和6年第11回武蔵村山市教育委員会定例会を開会いたします。

◎日程第1 会期の決定

○池谷教育長 日程第1、会期の決定を議題といたします。

本定例会の会期は、本日限りといたしたいと思えます。

これに御異議ございませんでしょうか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○池谷教育長 御異議なしと認めます。

したがって、会期は本日限りといたします。

◎日程第2 前回会議録の承認

○池谷教育長 日程第2、前回会議録の承認を議題といたします。

本件は、これを承認することに御異議ございませんでしょうか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○池谷教育長 御異議なしと認めます。

よって、本件は承認されました。

本日の会議録の署名は比留間委員にお願いいたします。

◎日程第3 教育長報告

○池谷教育長 日程第3、教育長報告を議題といたします。

1点目でございますが、令和6年度自治功労表彰者・一般表彰者についてでございます。

資料1を御覧いただきたいと思います。

内容につきましては、教育総務課長から報告いたします。

佐藤教育総務課長、お願いします。

○佐藤教育総務課長 それでは、令和6年度自治功労表彰者・一般表彰者について、御報告をさせていただきます。

令和6年度自治功労表彰者・一般表彰者のうち、教育委員会から推薦した方々につきましては、お手元の資料のとおりでございます。

まず、保健衛生功労者につきましては、奥住美幸様が学校保健業務で受賞されました。

次に、社会教育功労者につきましては、小川仁士様がスポーツ振興で、河原塚達樹様、長潟謙彰様及び吉田邦子様が社会教育振興で受賞されました。

次に、文化芸術功労者につきましては、原田英治様が文化財保護で受賞されました。

次に、寄附功労者につきましては、高橋保子様からは現金を、多摩信用金庫様、東京武蔵村山ロータリークラブ様及びユニ・ケア株式会社様からは物品を寄附していただきました。

受賞された皆様の功績は資料に記載のとおりでございますので、御覧いただければと存じます。

報告は以上でございます。

○池谷教育長 続きまして、2点目でございます。

令和6年度教育関係寄贈に対する感謝状の贈呈者一覧についてでございます。

資料2を御覧いただきたいと思います。

内容につきましては、教育総務課長から報告いたします。

佐藤教育総務課長、お願いします。

○佐藤教育総務課長 それでは、令和6年度教育関係寄贈に対する感謝状の贈呈者一覧について御報告いたします。

令和5年9月1日から令和6年8月31日までの期間で市の表彰規定に当てはまらない本市の学校教育、社会教育のために寄贈していただいた個人及び団体に対しまして、教育委員会から感謝状を贈呈させていただきました。

対象者及び寄贈の内容等は資料にお示ししたとおりでございますので、御参照いただければと存じます。

報告は以上でございます。

○池谷教育長 続きまして、3点目でございます。

叙位・叙勲被伝達者についてでございます。

資料3を御覧いただきたいと思います。

内容につきましては、教育総務課長から報告いたします。

佐藤教育総務課長、お願いします。

○佐藤教育総務課長 それでは、叙位・叙勲被伝達者について御報告をさせていただきます。

まず、内山壽孝様は、平成8年4月から武蔵村山市立第一小学校の学校長として5年間、第三小学校の学校長として9年間勤務し、この間の学校経営、学校運営の充実に対する多大な貢献が認められ、瑞宝双光章を受賞されたものでございます。

次に、土方靖夫様は、昭和54年4月から令和5年3月までの44年間、第三小学校等の学校歯科医として従事され、この間の歯科保健教育の充実に対する多大な貢献が認められ、瑞宝双光章を受賞されたものでございます。

報告は以上でございます。

○池谷教育長 続きまして、4点目でございます。

第27回武蔵村山市生涯学習フェスティバルの開催についてでございます。

資料4を御覧いただきたいと思います。

内容につきましては、文化振興課長から報告いたします。

廣末文化振興課長、お願いします。

○廣末文化振興課長 それでは、第27回武蔵村山市生涯学習フェスティバルの開催について御報告いたします。

資料4を御覧ください。

生涯学習フェスティバルは、様々な技術や知識を楽しく体験・学習すること、また出展者と来場者が交流を図ることを目的に12月1日（日）午前10時から午後3時まで市役所市民駐車場及びさくらホールを使用して開催いたします。

開会式は午前9時40分から、さくらホール小ホールにて行います。

内容につきましては、市役所市民駐車場及びさくらホールの各部屋の体験ブースにおいて、各種教室や体験学習の場を設ける団体が9団体出展いたします。また、さくらホール小ホールでは、合唱やフラダンスなど舞台出演を行う団体が10団体参加いたします。その他、パンや焼き菓子、焼き鳥などを販売する模擬店などの出展も予定しております。

なお、資料4の別冊には、第27回武蔵村山市生涯学習フェスティバルのパンフレットを添付させていただいておりますので、詳細は御確認いただければと思います。

教育長並びに教育委員の皆様におかれましては、御多用の中、恐縮ではございますが、開会式に御出席いただきますようよろしくお願いいたします。

報告は以上でございます。

○池谷教育長　続きまして、5点目でございます。

第19回地区ふれあいスポレク大会の開催結果ついてでございます。

資料5を御覧いただきたいと思います。

内容につきましては、スポーツ振興課長から報告いたします。

鳥海スポーツ振興課長、お願いします。

○鳥海スポーツ振興課長　それでは、令和6年度第19回地区ふれあいスポレク大会の開催結果について御報告いたします。

資料5を御覧ください。

本大会は、自治会長やスポーツ推進委員、スポーツ協力員などで構成されます各地区の実行委員会に運営をお願いし、令和6年10月20日（日）に開催いたしました。

参加状況につきましては資料にお示しのとおりでございますが、中藤地区が約250人、西部地区が約200人、南部地区が約200人、北部地区が約150人、4地区の合計は約800人でした。

なお、負傷者等の報告はありませんでした。

教育長並びに教育委員の皆様におかれましては、各会場での御挨拶、また競技への御参加もいただきまして誠にありがとうございました。御礼を申し上げます。

報告は以上でございます。

○池谷教育長　教育長報告は以上でございます。

6点目のその他でございますが、特に報告等はございません。

教育長報告に対する質疑等があればお受けいたします。

杉原委員、お願いいたします。

○杉原委員　それでは、2点お願いいたします。

1点目は、資料2の教育関係寄贈に対する感謝状の贈呈者についてです。

大変貴重な数々のものを寄贈いただき感謝申し上げます。

その中で、大変珍しい縄文土器や幻住庵記の版木を寄贈していただいているわけですが、この縄文土器は武蔵村山市内で発掘されたものなののでしょうか。そのときの状況、どのように保存されていたかなどをお聞きできればと思います。

また、幻住庵記の版木ですけれども、幻住庵記は俳人の松尾芭蕉の作で元禄3年といえますから、1690年の4月から7月までの間に大津市にある幻住庵に滞在した際に書かれたものようでございます。そして、翌年の8月に「猿蓑」というものに所収されて発行されてい

るわけですが、この版木が見つかったというのは大変貴重なものだと思います。おそらく、人のつながりがあつてのことだと思いますが、寄贈されるときにお話をうかがっておりましてお聞きしたと思います。

○池谷教育長 廣末文化振興課長、お願いします。

○廣末文化振興課長 それでは、御説明いたします。

まず、縄文土器でございますけれども、こちらは荒井様と山本様から寄贈していただいているところでございますけれども、荒井様から寄贈いただいた縄文土器につきましては、市内のどこの遺跡の近くかということとは不明になっております。また、山本様から寄贈いただいた縄文土器につきましては、吉祥山遺跡の周辺から拾ったものということですので、いずれも掘り出したということではなく、表面に落ちていたものを保管していたということでございます。

次に、幻住庵記につきましては、委員がおっしゃるとおり、松尾芭蕉が記された俳句の版木となっております。こちらは渡辺様の御先祖の方が江戸のほうに出向いた際に、何らかの形で手に入れてきて、それを渡辺様が保管していたということを聞いております。

以上でございます。

○池谷教育長 杉原委員、いかがでしょうか。

○杉原委員 ありがとうございます。

大変貴重なものですので、大事に飾っていただければと思います。また、市民の皆様にぜひ知っていただきたいと思います。

2点目は、資料5のふれあいスポレク大会の開催結果についてです。

開催に当たって、自治会長の皆様をはじめスポーツ振興委員、スポーツ協力委員の方々の多大な御尽力があったものと想像いたします。また、参加された高齢者の方々の御協力や御尽力の大きさを大変痛感いたしました。武蔵村山市は高齢者の方もはつらつと元気に活躍なさっていて素晴らしいと思った次第です。

今後も継続してほしいと考えておりますが、課題と対応策についてお考えのことがあれば、お聞きしたいと思います。

○池谷教育長 鳥海スポーツ振興課長、お願いします。

○鳥海スポーツ振興課長 ふれあいスポレク大会の今後の課題と対策ということでございますが、ふれあいスポレク大会の開催について、各自治会長から負担が大きいという御相談をいただきまして、運営方法を変更してから2回行った結果となっております。

実際には、当日の参加者を多く集うような競技を主として開催する方法になりましたので、事前の予約がないものですから、どれだけの方に参加いただけるのなかなか難しい大会にはなってしまうております。しかしながら、南部地区では子供の参加が想定よりありましたので、こういった形で子供を募ったのかという内容、その対策など、スポーツ推進委員協議会の会議の中で挙がっております。今後4地区で参加者を増やしたいということが課題となっていますので、高齢の方もそうですけれども、子供の参加者をどうやって増やしていこうかという課題に対して、スポーツ推進委員、スポーツ協力員、スポーツ振興課で連携しながら考えていきたいと思っております。

以上でございます。

○池谷教育長 杉原委員、いかがでしょうか。

○杉原委員 ありがとうございます。よろしく願いいたします。

○池谷教育長 その他、委員の皆様、いかがでしょうか。

潮委員、お願いいたします。

○潮委員 1点質問と、1点お願いでございます。

質問でございますが、資料4の生涯学習フェスティバルについてでございます。

毎年度3月に行っている生涯学習フェスティバルが今年は12月に変更になっておりますが、その理由と、今後も12月開催になるのかということが分かれば教えていただきたいと思っております。

○池谷教育長 廣末文化振興課長、お願いします。

○廣末文化振興課長 お答えいたします。

現在、市民文化祭を開催しているところですが、市民文化祭との流れの中で生涯学習フェスティバルを実施していこうということを考えております。来年度につきましては、12月に開催するかどうかというのは未定でございますけれども、市民文化祭とコラボするとか、そういうことで活性化できればというように考えております。

以上でございます。

○池谷教育長 潮委員、いかがでしょうか。

○潮委員 ありがとうございます。

参加団体に重複がみられる部分もありますけれども、練習のことでしたり、いろいろあると思いますので、いつ開催になるかというのが分かれば、早く周知をお願いしたいと思っておりますので、お願いいたします。

それから1点、お願いでございます。

先日、第一小学校の開校110周年の記念地区祭りに参加させていただきました。その中で市長のお話がありまして、そのときに、ただいま給食費が無償化となっておりますが、それを知らない子供たちが多いというお話をいただきました。私たちも親としては子供たちに伝えているつもりではいますけれども、やはり知っていくということは大切と思うところで、先日、学校訪問も行かせていただきまして、そのときに教育長からも各校長先生に周知のお願いをしてくださいましたけれども、今月これから残食ゼロウィークというのがあると思います。ぜひそのときに、給食のときに子供たちが委員会で放送を流すと思いますので、子供たちの直接の声で給食費が無償化になっているということを周知していただければ、より分かりやすいと思いますので、ぜひ教育委員会として御指導をお願いしたいと思います。よろしく願いいたします。

○池谷教育長 その他、いかがでしょうか。

(発言する者なし)

○池谷教育長 質疑なしと認めます。

これをもって教育長報告を終わります。

◎日程第4 議案第49号 令和6年度教育予算の補正（第5号）の申出について

○池谷教育長 日程第4、議案第49号 令和6年度教育予算の補正（第5号）の申出についてを議題といたします。

議案の朗読は省略させていただきます。

議案第49号の提案理由を説明させていただきます。

令和6年度教育予算について、歳入で都補助金、歳出で教育総務費、小学校費、中学校費、社会教育費及び保健体育費に補正の申出をする必要があるので、本案を提出するものでございます。

なお、内容につきましては、教育部長から説明いたさせますので、よろしく御審議の上御決定くださるようお願いいたします。

鈴木教育部長、お願いします。

○鈴木教育部長 それでは、議案第49号 令和6年度教育予算の補正（第5号）の申出につきまして御説明いたします。

今回の補正につきましては、令和6年度武蔵村山市一般会計補正予算（第5号）に係る教

育予算につきまして、歳入において 1,406 千円を、歳出において 10,213 千円を増額するものでございます。

A 4 横版の第 5 号補正参考資料の 1 ページを御覧ください。

まず歳入でございますが、16 款 2 項 8 目教育費都補助金につきましては、学校と家庭の連携推進事業における補助単価の変更及びチャレンジクラスの在籍者数の増加に伴う環境整備に対する補助金として、合わせて 1,406 千円を増額するものでございます。

次に、歳出でございます。

2 ページを御覧ください。

9 款 1 項 2 目事務局費につきましては、会計年度任用職員の期末勤勉手当の支給率改定に伴う経費を増額するものでございます。なお、会計年度任用職員を任用している場合は、同様の理由により増額しておりますので、事務局費以降の各経費の説明につきましては省略させていただきます。

次に、3 目教育指導費につきましては、学校と家庭の連携推進事業の補助単価の変更及びチャレンジクラスの在籍者数の増加に伴う環境整備に係る経費を増額するものでございます。

次に、4 目教育振興費につきましては、知能検査の講習に係る講師謝礼及び第十小学校に開設する特別支援学級の備品購入費等に係る経費を増額するものでございます。

次に、3 ページを御覧ください。

9 款 1 項 8 目市立学校教員研修奨励基金費につきましては、未執行金額を積み戻すものでございます。

次に、2 項 1 目学校管理費及び 3 項 1 目学校管理費につきましては、一人 1 台端末を修繕するための経費及び第三中学校における職員室の空調機の借り上げに係る経費を増額するものでございます。

次に、4 ページを御覧ください。

5 項 4 目歴史民俗資料館費につきましては、水道使用量の増加に伴う経費を増額するものでございます。

以上、議案第 49 号の説明とさせていただきます。よろしくお願いいたします。

○池谷教育長 これより質疑に入ります。

委員の皆様、いかがでしょうか。

大野職務代理者、お願いいたします。

○大野職務代理者 1 点質問でございます。

今回の補正予算で目を引きましたのが、小中学校の一人1台端末の修繕料の増額でございまして、小中合わせて370万円になるかと思います。道具というものの、どんなに丁寧に扱っても壊れることはあるわけですが、今回修繕料を増額するに当たって、修繕が必要となった原因といいますか、どのように壊れたのか把握しておりましたら教えてください。

○池谷教育長 佐藤教育総務課長、お願いします。

○佐藤教育総務課長 それでは、お答えいたします。

修繕が必要となった主な要因につきましては、経年劣化による故障、バッテリー交換が必要になったもの、また使用中に机の上から落としてしまったり壊れたもの、教室間を移動する際の持ち運びで落としてしまったもの、こういったものが一番多い要因となっております。

以上でございます。

○池谷教育長 大野職務代理人、いかがでしょうか。

○大野職務代理人 ありがとうございます。

一人1台端末につきましては、大変大きな金額をかけて導入していただいたものですし、一台一台が高価なものであることは、子供たちも承知した上で大切に扱ってくれているとは思っておりますが、予想を超える修繕が発生したということで確認をさせていただきました。今のお話で、原因の中には元気がありあまっの動きの結果、壊れてしまうこともある、そういうこともあるのかと思ったところでございまして、決して乱暴に扱ってのことではないと理解したところでございます。

各学校におきましては、引き続き物を大切にする教育をお願いしたいと思っております。

以上でございます。

○池谷教育長 その他、委員の皆様、いかがでしょうか。

杉原委員、お願いいたします。

○杉原委員 チャレンジクラスの在籍者数が増加したことによって、教室の移転に伴う間仕切りの工事が行われるということで、予算を計上していただきありがとうございました。不登校の子供たちの学習の保障というのは、非常に必要だと思うなかで、子供たちの学べる状況ができて大変喜ばしいことだと思いました。また、チャレンジクラスは全国で数えても数が少ないのですが、この状況について何か情報がありましたら教えていただければと思います。

○池谷教育長 東口学校教育担当部長、お願いいたします。

○東口学校教育担当部長 お答えいたします。

チャレンジクラスにつきましては、現在、東京都の施策として10地区10校で行われてお

ります。また、来年度さらに4校が手を挙げておりまして、14校になっていくところでございます。

委員からお話いただいたとおり、学習の保障の場として、また家庭とは違った居場所として多くの子供たちの姿が第三中学校で見られているというのは、とても喜ばしいことだと感じております。責任をもって取り組んでまいりたいと思います。

以上です。

○池谷教育長 杉原委員、いかがでしょうか。

○杉原委員 ありがとうございます。

武蔵村山市が先駆的にこのように取組をなさって、本当にありがたいと思います。ぜひ今後ともよろしく願いいたします。

○池谷教育長 その他、委員の皆様、いかがでしょうか。

(発言する者なし)

○池谷教育長 質疑なしと認めます。

これをもって質疑を終わります。

これより討論に入ります。

(発言する者なし)

○池谷教育長 討論なしと認めます。

これをもって討論を終わります。

これより議案第49号 令和6年度教育予算の補正(第5号)の申出についてを採決いたします。

本案は原案のとおり決することに賛成の方の挙手を求めます。

(賛成者挙手)

○池谷教育長 挙手全員であります。

よって、本案は原案のとおり決しました。

◎日程第5 議案第50号 武蔵村山市立学校の令和7年度入学式及び卒業証書授与式の日程について

○池谷教育長 日程第5、議案第50号 武蔵村山市立学校の令和7年度入学式及び卒業証書授与式の日程についてを議題といたします。

議案の朗読は省略させていただきます。

議案第 50 号の提案理由を説明させていただきます。

武蔵村山市立学校の令和 7 年度入学式及び卒業証書授与式の日程を定める必要があるので、本案を提出するものでございます。

なお、内容につきましては、教育部長から説明いたさせますので、よろしく御審議の上御決定くださるようお願いいたします。

鈴木教育部長、お願いします。

○鈴木教育部長 それでは、議案第 50 号 武蔵村山市立学校の令和 7 年度入学式及び卒業証書授与式の日程につきまして御説明申し上げます。

別紙を御覧ください。

武蔵村山市立学校の管理運営に関する規則第 25 条では、入学式及び卒業証書授与式を実施する日は校長の意見を聞いて委員会が定めることとしております。教育委員会事務局では、令和 6 年 10 月 11 日付けの事務連絡により、小・中学校校長会に意見を照会いたしましたが、特に意見はございませんでした。

そこで、武蔵村山市立学校の令和 7 年度の入学式及び卒業証書授与式の日程につきましては、別紙のと通りの日程で実施したいと考えておりますので、よろしくお願い申し上げます。

以上、議案第 50 号の説明とさせていただきます。

○池谷教育長 これより質疑に入ります。

委員の皆様、いかがでしょうか。

(発言する者なし)

○池谷教育長 質疑なしと認めます。

これをもって質疑を終わります。

これより討論に入ります。

(発言する者なし)

○池谷教育長 討論なしと認めます。

これをもって討論を終わります。

これより議案第 50 号 武蔵村山市立学校の令和 7 年度入学式及び卒業証書授与式の日程についてを採決いたします。

本案は原案のとおり決することに賛成の方の挙手を求めます。

(賛成者挙手)

○池谷教育長 挙手全員であります。

よって、本案は原案のとおり決しました。

◎日程第6 その他

○池谷教育長 日程第6、その他に入ります。

委員の皆様からの報告等の御発言があればお受けいたします。

比留間委員、お願いいたします。

○比留間委員 先月になりますが、皆さんと一緒に村山学園、第八小学校、第三中学校と学校訪問をさせていただいたときの感想を少し述べさせていただきたいと思います。

まず、各校の先生方におかれましては、行事などが重なるお忙しい中での御準備、また御案内をいただきましたことを、この場をお借りして改めてお礼を申し上げる次第でございます。実際に現場を拝見し、各校子供たちのために様々な取組をされているということが率直な感想であります。

まず、村山学園では、施設一体型の小中一貫校として小学校、中学校の先生方が非常に近い距離で子供たちの学びや成長についてディスカッションをするような姿を見させていただきました。そこには、真剣に授業に取り組む子供たちの姿があり、学習に対する意欲というのは非常に感じたところであります。

また、第八小学校では、同校の教育目標にある礼を重んずる子が示すとおり、礼儀正しく、明るく挨拶のできる子供たちが非常に多く、また落ち着いた雰囲気の中で授業が行われておりました。日頃の先生方の御指導の成果なのではないかと思いました。

最後に、第三中学校ですが、まちづくり学習とゼロカーボン学習の授業を見させていただきました。その中で、ただ単にそれらの授業を行うということではなく、まちづくりとゼロカーボンに関連づけするほか、他の教科にも水平展開させるような工夫をしていると伺いました。授業中は非常に和やかに意見交換をしたり、クラスメイトの発表を真剣に聞いたりする生徒たちの姿を見て、非常に感心したところであります。

各校の先生方におかれましては、御苦勞も多いと存じますが、子供たちの成長のために今後とも御尽力をいただきたいと願うところでございます。

また、真剣に学ぶ子供たちの姿を見て、私自身、子供たちの手本となる大人にならなければならないなど、日々をそうやって過ごしていかなければならないと改めて感じたところでございます。

以上です。

○池谷教育長 その他、委員の皆様、いかがでしょうか。

(発言する者なし)

○池谷教育長 事務局からの報告等の御発言があればお受けいたします。

(発言する者なし)

○池谷教育長 これをもって、その他を終わります。

◎閉会の辞

○池谷教育長 以上で、本定例会に付議されました案件の審議は全部終了いたしました。

これをもって、令和6年第11回教育委員会定例会を閉会いたします。

ありがとうございました。

午前10時04分閉会